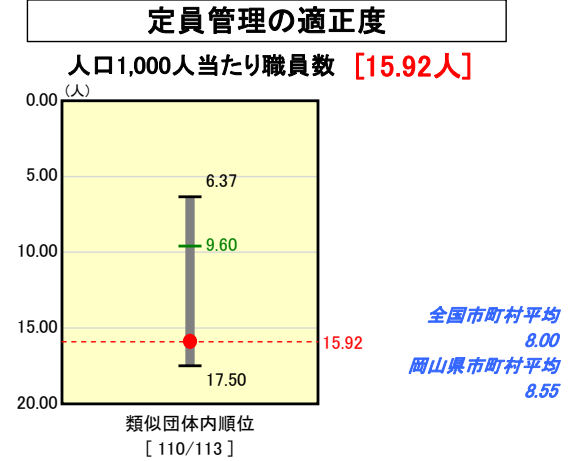
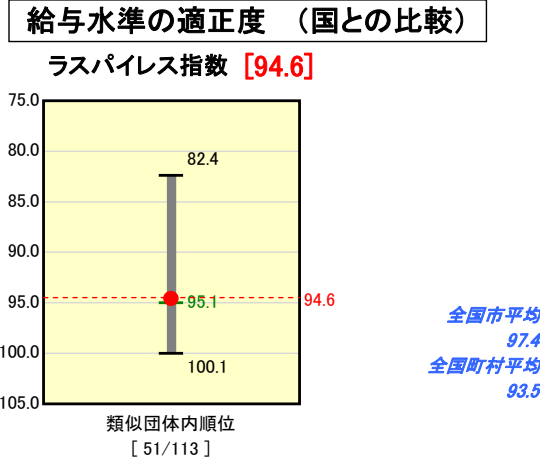
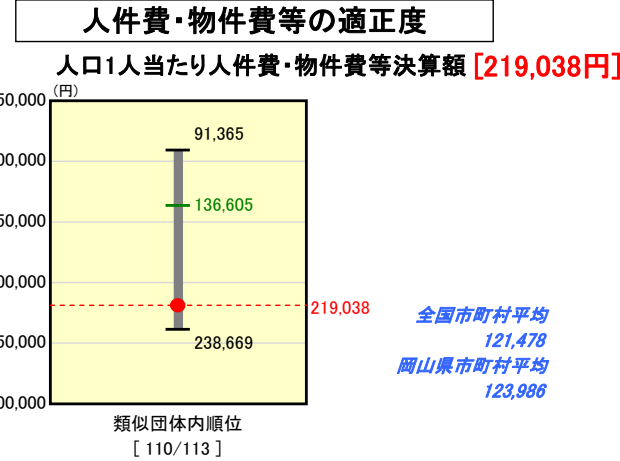
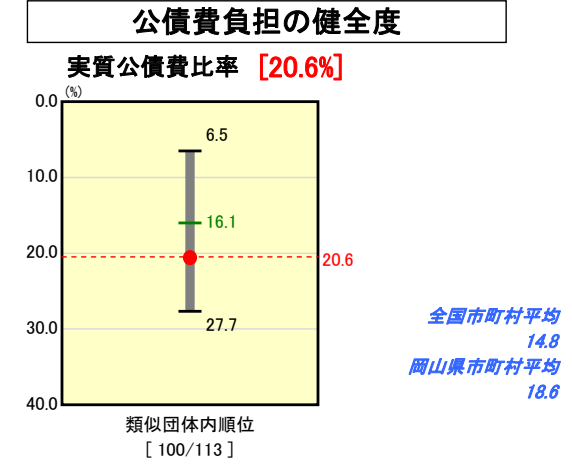
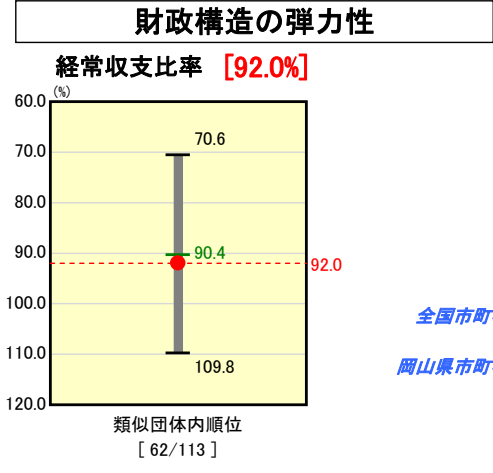
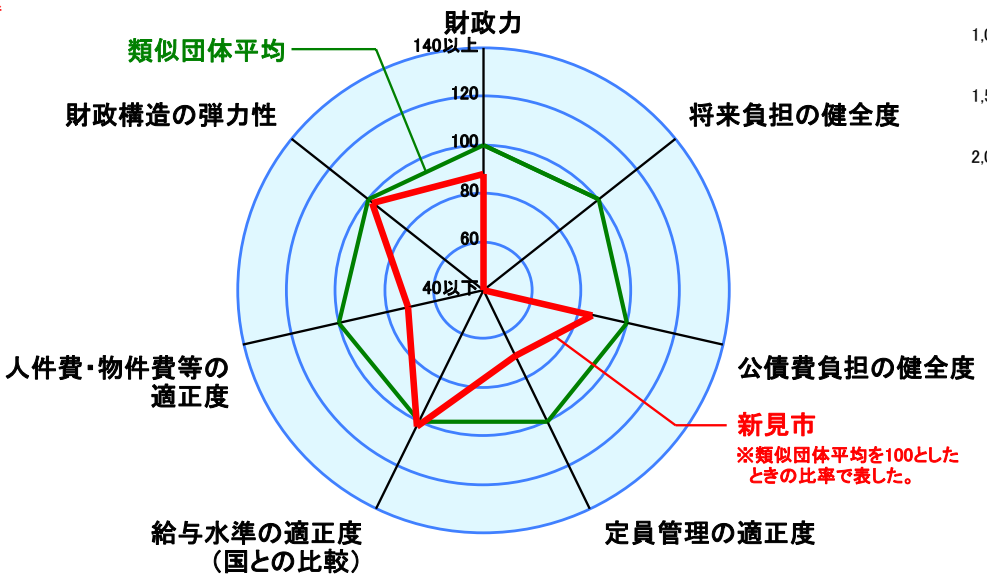
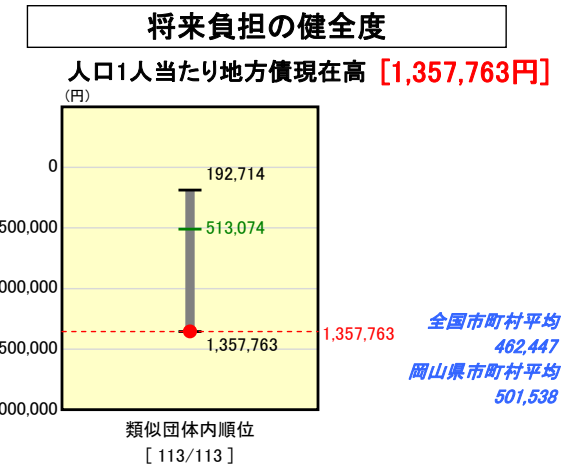
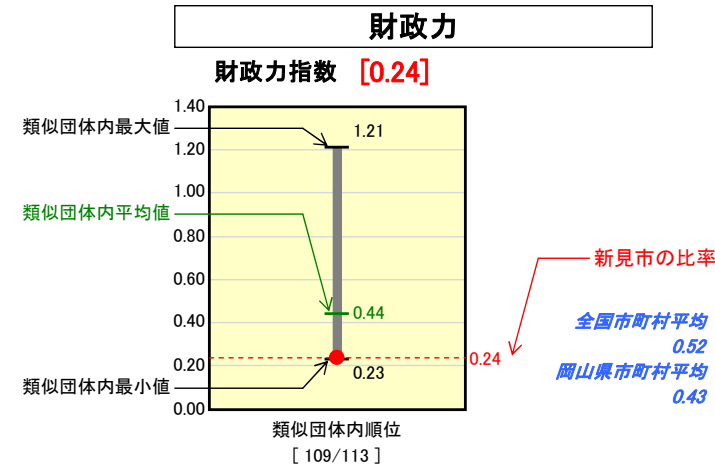


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 新見市

人口	36,433	人(H18.3.31現在)
面積	793.27	km ²
歳入総額	27,793,998	千円
歳出総額	26,643,303	千円
実質収支	805,925	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数: 山間部に位置し、企業が少なくことから、税収が少なく、類似団体平均をかなり下回っている。税の徴収強化や、行政改革集中改革プランに沿った行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率: 平均をやや上回っているが、「集中改革プラン」に基づき、今後とも定員管理の適正化による人件費の削減や、高利率の地方債の繰上償還等による公債費の削減など行政改革に取り組み、義務的経費の削減に努める。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 合併による職員数の増加や、情報機器関係委託料の増などにより、類似団体の平均を上回っている。「集中改革プラン」に基づき、事務事業を見直すとともに、早期退職の勧奨等により、平成22年度までに対16年度比20%の職員削減(消防、短大を除く)を目指すなど、人件費等の削減に努める。
- 人口1人当たりの地方債現在高: 交付税算入率の高い辺地対策事業債や過疎対策事業債などを多く借りて事業を実施しているため、平均値をかなり上回っている。平成19年度以降の地方債借入額を、当該年度元金償還額の70%以内に抑えるとともに、平成22年度まで毎年3億円程度の繰上償還を行い、地方債残高の削減に努める。
- 実質公債費比率: 地方債の残高に連動して類似団体平均値を上回っている。地方債発行の抑制(当該年度元金償還額の70%以内)に努めるとともに、高利率の地方債の繰上償還等により公債費の削減を図る。
- 人口1,000人当たり職員数: 合併による職員数の増加により、類似団体平均値を上回っている。「集中改革プラン」に基づき、新規採用の抑制や退職勧奨、民間委託の推進などを行い、平成22年度までに対16年度比20%の職員削減(消防、短大を除く)を目指す。
- ラスパイレース指数: 類似団体の平均を下回っているが、各種手当や給与制度の見直しなど、今後より一層の給与の適正化に努める。